



## ダッシュボード

---

- [概要 \(1 ページ\)](#)
- [ダッシュボードのアクション \(3 ページ\)](#)
- [ダッシュボードへのウィジェットの追加 \(6 ページ\)](#)
- [ダッシュボードからレポートを実行する \(9 ページ\)](#)

### 概要

Cisco Unified Intelligence Center のダッシュボードは、統合された1つのビューでレポート、Web ページ (URL)、Web ウィジェット、注記を追加できるインターフェイスです。

ダッシュボードインターフェイスでのすべてのアクションは、ダッシュボードとフォルダに対するロールとユーザ権限に基づきます。

#### ダッシュボードへのアクセス

左側のナビゲーション ウィンドウで **[ダッシュボード (Dashboards)]** をクリックすると、使用可能なすべてのダッシュボードのリストが表示されます。このリストには、作成したダッシュボードと、あなたがビュー パーミッションを持つ他のユーザーが作成したダッシュボードが含まれます。



- (注)
- ダッシュボードを作成するには**ダッシュボード作成者**のロールを割り当てられている必要があります。
  - 他のユーザーが作成したダッシュボードを表示するには、ダッシュボードとその親フォルダに対する**表示**アクセス許可が必要です。
  - Cisco Unified Intelligence Center ではデフォルトのダッシュボードは提供されていません。
-

## ダッシュボードの実行

ダッシュボードを実行するには、ダッシュボードの名前をクリックします。ダッシュボードが実行モードになっている場合、ツールバーを使用して以下の操作を行います。

- ダッシュボードを編集します。
- ダッシュボードを更新します。
- ダッシュボードビューを最大化します。

Esc を押すと、元のビューに戻ります。

## アップグレードする前に

Cisco Unified Intelligence Center 12.0 では、ダッシュボードごとに最大 10 個のウィジェットがサポートされます。したがって、12.0 より前のバージョンで 11 個以上のウィジェットを含むダッシュボードがある場合は、アップグレードの前に、それらのダッシュボードを分割して、各ダッシュボードのウィジェットを 10 個までにする必要があります。

たとえば、12.0 より前のバージョンの Unified Intelligence Center で、15 個のウィジェットを持つダッシュボードがあるとします。バージョンを 12.0 にアップグレードする前に、[名前を付けて保存 (Save As) ]機能を使用してダッシュボードのクローンを作成し、ダッシュボードごとに管理するウィジェットを最大 10 個に減らします。

## サポートされていないウィジェット

Cisco Unified Intelligence Center 12.0 インターフェイスのダッシュボードでは、次のウィジェットはサポートされません。

- レポートのスケジュール設定 ウィジェット
- ダッシュボードのパーマリンクを含む URL ウィジェット (Nested Dashboard)

## 移行制限

Cisco Unified Intelligence Center 12.0 に移行する前にダッシュボードに追加された以下のウィジェット。

- レポートのスケジュール設定 ウィジェット。
- ダッシュボードのパーマリンクを含む URL ウィジェット (Nested Dashboard)
- 新しいダッシュボードのキャンバスサイズを超えて配置されたウィジェット。



(注) レガシーダッシュボードインターフェイスに配置されていたウィジェットの位置は、Cisco Unified Intelligence Center 12.0 へのアップグレード後も保持されます。ただし、場合によっては、新しいダッシュボードインターフェイス内に収まるようにウィジェットの位置とサイズが変更されることもあります。

- 正しくないウィジェット（正しくないデータベース レコード）

例：レポート ビューが欠落している Report ウィジェット。



(注) 移行されていないスケジュールレポートウィジェットおよびネストされたダッシュボードウィジェットの場合、Cisco Unified Intelligence Center のサーバログはログをキャプチャしません。

他のすべてのウィジェットについては、Cisco Unified Intelligence Center サーバログで、対応するダッシュボードおよびウィジェットの名前を含むログ情報がキャプチャされます。

## ダッシュボードのアクション

ダッシュボードから実行できる各種アクションを次の表に示します。



(注) 一度に最大 10 個のタブを開くことができます。

表 1: ダッシュボードのアクション

アクション	説明
ダッシュボードレベルのアクション	
新規	
ダッシュボード	<p>新しいダッシュボードを作成します。</p> <p>[新規ダッシュボード (New Dashboard)] ウィザードで、次の操作を実行できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ダッシュボードのプロパティとして、名前と説明を指定する。</li> <li>• ダッシュボードにウィジェットを追加する。</li> </ul> <p>詳細については、「ダッシュボードへのウィジェットの追加」の項を参照してください。</p>

アクション	説明
フォルダ	<p>新規フォルダを作成します。この機能を使用してダッシュボードを分類します。</p> <p>(注) フォルダを別の場所に移動または保存すると、ドロップダウンのリストにすべてのフォルダが表示されます。アクセスできるフォルダは、<b>編集</b>アクセス許可を持っているフォルダだけです。</p>
<b>ツールバーのアクション</b>	
更新	[ダッシュボード (Dashboards)] ページを更新します。
お気に入り	<p>ダッシュボードに簡単にアクセスできるように、ダッシュボードを[お気に入り (Favorites)] に設定できます。</p> <p>[お気に入り (Favorites)] に追加するダッシュボードの名前の横にある星形のアイコンをクリックします。</p>
検索	特定のダッシュボードを検索します。
<b>省略記号 (...) のアクション</b>	
編集	<p>ダッシュボードの詳細を編集します。編集モードでは次の操作を実行できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• ウィジェットを追加、削除、変更する。</li> <li>• ダッシュボードの名前の横にあるアイコンをクリックして、ダッシュボードのプロパティとして、名前と説明を編集する。</li> </ul> <p>ダッシュボードの編集が終わったら [保存 (Save)] をクリックします。</p>
名前を付けて保存	ダッシュボードのコピーを保存します。
名前の変更	ダッシュボードまたはフォルダの名前を変更します。
移動	<p>ダッシュボードまたはフォルダを別のフォルダに移動します。</p> <p>(注) ダッシュボードやフォルダを移動できるのは、移動するダッシュボードまたはフォルダの親フォルダに対して<b>編集</b>アクセス許可を持っている場合だけです。</p>

アクション	説明
削除	<p>ダッシュボードまたはフォルダを削除します。</p> <p>(注) ダッシュボードやフォルダを削除できるのは、削除するダッシュボードまたはフォルダの親フォルダに対して<b>編集</b>アクセス許可を持っている場合だけです。</p>
アクセス許可	<p>ダッシュボードにアクセスして管理するための適切な権限を割り当てます。</p> <p><b>グループ</b>：ダッシュボードの<b>表示</b>および<b>編集</b>権限をさまざまなグループに付与します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• セキュリティ管理者は、さまざまなグループにこれらの権限を付与できます。</li> <li>• エンティティの所有者は、直接関連付けられているグループにこれらの権限を付与できます。</li> </ul> <p><b>ユーザ</b>：ダッシュボードの<b>表示</b>および<b>編集</b>権限をさまざまなユーザに付与します。セキュリティ管理者にのみ適用されます。</p> <p>(注)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 個々のユーザまたはユーザグループのより高い権限（表示および編集）が優先されます。</li> <li>• 最初の200レコード（アルファベット順）のみが<b>[メンバー (Members)]</b>または<b>[グループ (Groups)]</b>パネルに表示されます。さらに多くのレコードを表示するには、<b>[設定 (Configure)]</b> &gt; <b>[グループ (Groups)]</b>を参照してください。</li> <li>• 権限を変更し、<b>[グループ (Groups)]</b>タブと<b>[ユーザ (Users)]</b>タブを切り替える場合は、変更を保存するか破棄するかを選択するように求められます。</li> </ul>

アクション	説明
パーマリンク	<p>ダッシュボードのパーマリンクを表示します。</p> <p>(注) 固定ハイパーリンクには Web ブラウザからのみアクセスできます。Microsoft Excel などのアプリケーションからパーマリンクにアクセスしてデータをプルしたりダッシュボードを表示したりすることはできません。</p> <p>詳細については、「ダッシュボードのパーマリンク」を参照してください。</p>

#### 関連トピック

[ダッシュボードへのウィジェットの追加](#) (6 ページ)

[ダッシュボードのパーマリンク](#)

## ダッシュボードへのウィジェットの追加

レポート、Web ページ、メモ、およびカスタム ウィジェットをダッシュボードに追加できます。また、ニーズに合うようにウィジェットのサイズや位置を変更することができます。デフォルトのウィジェットのサイズはダッシュボードキャンパスの使用可能なスペースによって異なります。



(注) ダッシュボードごとに最大 10 個のウィジェットを追加できます。

ダッシュボードにウィジェットを追加するには、次の手順を実行します。

#### 手順

**ステップ 1** 左側のナビゲーション ウィンドウで、[ダッシュボード (Dashboards)] をクリックします。

**ステップ 2** [ダッシュボード (Dashboards)] タブをクリックします。

- 新しいダッシュボードにウィジェットを追加するには、[新規 (New)] > [ダッシュボード (Dashboard)] をクリックします。
- 既存のダッシュボードにウィジェットを追加するには、必須ダッシュボードの横にある [... (省略記号)] アイコンをクリックし、[編集 (Edit)] をクリックします。

**ステップ 3** ダッシュボードキャンバスで、[+ (プラス)] アイコンをクリックします。

**ステップ 4** [ウィジェットの追加 (Add Widgets)] ダイアログボックスで、必須ウィジェットを追加するには、次の手順を実行します。

ウィジェットタイプ	手順
レポート ビュー	<p>ダッシュボードに既存のレポートを表示します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="766 352 1520 426">1. [レポート ビュー (Report View)] アイコンをクリックします。</li> <li data-bbox="766 447 1520 552">2. [レポートビューの追加 (Add Report View)] ダイアログボックスで、対応するドロップダウンリストから [レポート (Report)] と [ビュー (Views)] を選択します。</li> <li data-bbox="766 573 1227 604">3. [完了 (Done)] をクリックします。</li> </ol> <p>(注)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="906 646 1520 783">• レポートウィジェットでは、ウィジェットヘッダーにあるアイコンをクリックすると、既存のフィルタ情報の表示、フィルタの管理、レポート実行の再生または一時停止を行えます。</li> <li data-bbox="906 814 1520 951">• [フィルタの管理 (Manage filters)] アイコンと [フィルタの表示 (View filter)] アイコンは、レポートウィジェットにカーソルを合わせたときのみ表示されます。</li> <li data-bbox="906 982 1520 1245">• グリッドビューレポートでは、レポートデータのフォントサイズを拡大または縮小できます。 デフォルトのフォントサイズは10に設定されています。Cisco Unified Intelligence Center 12.0以降へのアップグレード後、この設定はグリッドビューの作成時に設定されたフォントサイズよりも優先されます。</li> <li data-bbox="906 1276 1520 1371">• 編集モードでは、レポートウィジェットのヘッダーから省略記号アイコンを使用してフィルタにアクセスし、フィルタ基準を変更できます。</li> <li data-bbox="906 1402 1520 1434">• ドリルダウンレポートはサポートされていません。</li> </ul>
注	<p>ダッシュボードに注釈を追加します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li data-bbox="766 1539 1325 1570">1. [メモ (Note)] アイコンをクリックします。</li> <li data-bbox="766 1591 1520 1696">2. [メモの追加 (Add a Note)] ダイアログボックスで、[メモのタイトル (Note Title)] と [メモの本文 (Note Body)] に入力します。</li> <li data-bbox="766 1717 1227 1749">3. [完了 (Done)] をクリックします。</li> </ol>

ウィジェットタイプ	手順
Web ページ	<p>ダッシュボードに Web ページが表示されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ウェブページアイコンをクリックします。</li> <li>2. [Web ページの追加 (Add a Web page)] ダイアログボックスで、ダッシュボードに表示する Web ページのアドレスである Web の URL を入力します。</li> <li>3. [完了 (Done)] をクリックします。</li> </ol> <p><b>Web ページ ウィジェットの制限事項：</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「Xフレームオプション」により有効になっている Web サイトはダッシュボードに表示されません。</li> <li>• プロトコル (HTTP または HTTPS) のプレフィックスを付けずに提供される Web URL は、デフォルトで Cisco Unified Intelligence Center アプリケーションのプロトコルを使用します。</li> <li>• Cisco Unified Intelligence Center が HTTPS モードの場合は、HTTP ベースのウィジェットの URL をダッシュボードで設定できません。</li> <li>• ダッシュボードのパーマリンクを Web ページウィジェットとして追加することはできません。</li> </ul> <p>ダッシュボードに Web ページウィジェットとしてレポートのパーマリンクを表示する方法については、「ダッシュボードでのレポートのパーマリンクの表示」を参照してください。</p>



ウィジェットタイプ	手順
カスタム ウィジェット	<p>ダッシュボードにカスタム ウィジェットを追加します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. [カスタム ウィジェット (Custom Widget) ]アイコンをクリックします。</li> <li>2. [カスタム ウィジェットの追加 (Add Custom Widget) ]ダイアログボックスで[ウィジェットのタイトル (Widget Title) ]と[コードスニペット (Code Snippet) ]に入力します。  (注) [コードスニペット (Code Snippet) ]ボックスには、ダッシュボードに表示するウィジェットのマークアップ/コードスニペットを入力できます。たとえば、HTML、XML RSS フィード、JavaScript などを入力できます。  最大文字数： 1000 文字。</li> <li>3. [完了 (Done) ]をクリックします。組み込みコードがダッシュボードに表示されます。</li> </ol>

ステップ 5 [保存 (Save) ]をクリックします。

#### 関連トピック

[ダッシュボードのパーマリンクの表示](#)

## ダッシュボードからレポートを実行する

ダッシュボードからのレポートの実行は、レポートフィルタの選択時の[レポートの実行中にフィルタをスキップする (Skip filter during the report execution) ]チェックボックスに依存します。

- このチェックボックスがオンになっているレポートの場合、システムは、フィルタをバイパスし、デフォルト フィルタを使用してそのレポートを実行します。
- このチェックボックスがオフになっているレポートの場合、最初のアクセス時に、そのレポートを実行するためのフィルタを選択するプロンプトが表示されます。



- (注)
- **[レポートの実行中にフィルタをスキップする (Skip filter during the report execution)]** チェックボックスは、すべてのストックレポートでオフになっています。ダッシュボードレポートを初めて使用するときフィルタの選択が要求されないようにするには、新しいレポートを作成し、デフォルトのフィルタを設定して、**[レポートの実行中にフィルタをスキップする (Skip filter during the report execution)]** チェックボックスをオンにします。
  - **フィルタ**のプロンプトには、レポート ビューのタイプ (グリッド、グラフ、円グラフなど) を表す該当のアイコンが表示されます。
  - どちらのシナリオでも、**Report** ウィジェットのヘッダーの省略記号アイコンから**フィルタ**にアクセスしてフィルタ条件を編集することができます。

[**フィルタ (Filter)**] ボタンをクリックすると、次の検証に基づいて、[**フィルタ データ (Filter Data)**] ダイアログ ボックスにフィルタ条件が表示されます。

- 選択したレポート クエリーのタイプに基づいてフィルタ条件画面を表示する。
- そのレポートにデフォルト フィルタが設定されている場合は、デフォルト フィルタ条件を入力する。

### フィルタ データの編集

次の2つの方法で、ダッシュボードからレポート フィルタ データを編集できます。

- **実行モード** : レポート ウィジェットのヘッダーのフィルタ アイコンをクリックします。
- **編集モード** : 省略記号アイコンをクリックし、使用可能なメニュー オプションから [**フィルタ (Filter)**] を選択します。

必要なフィルタ基準を修正し、[**実行 (Run)**] をクリックします。修正したフィルタ条件を反映してレポートが更新されます。



(注) 作成、編集、実行モードになっているときにダッシュボードのレポート フィルタを編集すると、フィルタの設定はブラウザのキャッシュに保存されます。この設定は、個々のユーザ固有のものとなります。したがって、次回サインインしてダッシュボードを実行するときに、レポート ウィジェットは、ブラウザのキャッシュに保存されているフィルタ情報を使用してレポートを生成します（フィルタ条件を更新するプロンプトは表示されません）。ブラウザのキャッシュは最大 30 日間保持されます。

レポートを実行するたびに、ブラウザのキャッシュ内のフィルタ データの権限が検証されます。権限の不一致があると、以前選択したフィルタが無効になったので再度フィルタを選択するよう促すエラー メッセージが表示されます。

また、他のユーザが同じブラウザにサインインしていても、自分のフィルタ設定はそのユーザには見えていません。

ブラウザのキャッシュに保存されているフィルタ設定は、次の条件に当てはまる場合のみ消去されます。

- 過去 30 日間ダッシュボードを使用していない。
- 手動でキャッシュを消去した。

レポート フィルタの詳細については、「レポート フィルタ」の項を参照してください。

#### 関連トピック

[レポート フィルタ](#)

